

2013年3月19日

報道関係各位

公益社団法人 日本看護協会
ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社
(メディカル カンパニー、ビジョンケア カンパニー、コンシューマー カンパニー)
ヤンセンファーマ株式会社
オーソ・クリニカル・ダイアグノスティックス株式会社

健全な社会作りと生活の質の向上に貢献した方々を称える 「第9回ヘルシー・ソサエティ賞」 4部門6名の受賞者決定

公益社団法人 日本看護協会(会長:坂本すが)とジョンソン・エンド・ジョンソングループ日本法人各社^(※1)は、より明るい今日とよりよい明日に向け、健全な社会と地域社会の幸せを願い、国民のクオリティ・オブ・ライフの向上に貢献するため、さまざまな分野で指導的役割を果たした人々を顕彰する「ヘルシー・ソサエティ賞」の第9回受賞者を、各方面からなる審査委員会の厳正な審査のもと、下記のとおり決定したことをお知らせします。今年度は、教育者部門、ボランティア部門、医療従事者部門、青年部門の4部門6名の方が受賞されました。

この賞をきっかけに国民の生活、地域社会の福祉、さらにクオリティ・オブ・ライフの向上のために有意義な活動が、より広く認知・普及されることを心より願っております。

^(※1) ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社(メディカルカンパニー、ビジョンケアカンパニー、コンシューマーカンパニー)、ヤンセンファーマ株式会社、オーソ・クリニカル・ダイアグノスティックス株式会社で構成

教育者部門、ボランティア部門(国内・国際)、医療従事者部門(国内・国際)、青年部門の4部門、計6名の受賞者は、下記のとおりです。(詳細は別添資料1をご参照ください)*敬称略

教育者部門	福島 智	東京大学 先端科学技術研究センター 教授
ボランティア部門(国内)	長瀬 淑子	公益財団法人 ドナルド・マクドナルド・ハウス・ チャリティーズ・ジャパン事務局長
ボランティア部門(国際)	金井 昭雄	株式会社富士メガネ 代表取締役会長・社長兼任
医療従事者部門(国内)	谷川 武	愛媛大学大学院医学系研究科公衆衛生・健康 医学分野 教授
医療従事者部門(国際)	須藤 昭子	ハイチ国立シグノサナトリウム 医師・アドバイザー、 クリスト・ロア宣教修道女会
青年部門	小沼 大地	特定非営利活動法人クロスフィールズ 代表理事

「ヘルシー・ソサエティ賞」とは(詳細は別添資料2をご参照ください)

<http://www.healthysociety-sho.com/>

日本の国内外において、学術・教育、医療、公職、ボランティア・市民活動を通じ、より明るい今日とよりよい明日に向けて、健全な社会と地域社会、そして国民のクオリティ・オブ・ライフの向上に貢献した方々を称えることを目的に、平成16年(2004年)に公益社団法人 日本看護協会とジョンソン・エンド・ジョンソングループによって創設されました。

- ・より健やかな社会を築くための、個人の素晴らしい努力を表彰する
- ・国内外における、社会全体または特定のグループへの支援に対する功績を称える
- ・慈善行為や寛大な精神、助けを必要とする人々への配慮を奨励する
- ・他者への思いやり、人々のために奉仕するという日本のよき伝統を奨励する
- ・高潔な人格を持ち、人々の尊敬の的となっている個人を対象とする

各部門概要

教育者部門	社会のあらゆる場において、教育を深め、本来の仕事の範囲を超えて特別な努力をされ、人々に更なる知識を与え、教育により、よりよい明日の実現のために貢献した実績のある方に贈られます。
ボランティア部門	チャリティーや国民の福祉を向上させる活動、もしくは地域福祉の向上や市民としての活動などにおいて指導的役割を果たし、多大な貢献をされている方に贈られます。
医療従事者部門	医療全般のあらゆる分野で活躍する方々の中から、患者や高齢者、または障害者など、社会的に不利な立場にあり、援助を必要としている方々のケアのために特別な努力をされた方に贈られます。
公職部門	公務員として求められている仕事の範囲を超えて、国民のため、または地域住民のために、職責をこなす以上の積極的な努力をされた方に贈られます。
青年部門	30歳以下の青年で、あらゆる生命を守る環境保護のように社会をよりよい場所にしようとしている方、または助けの必要な人々に手を差し伸べている方など、年齢は若くとも目覚ましい努力と真に健全な社会を築くために有意義な活動を行い、他者を思いやるクリエイティブな人間になろうという決意をもつ方に贈られます。

【本件に関するお問い合わせ先】

ヤンセンファーマ株式会社 コミュニケーション&パブリックアフェアーズ部
野間 電話：E-mail:snoma@its.jnj.com TEL:03-4411-8085(直通)、FAX:03-4411-5050
<http://www.janssen.co.jp/public/rls/news/4141>

(別添資料1)

「第9回ヘルシー・ソサエティ賞」受賞者は、以下の通りです(敬称略)

<p>教育者部門</p>	<p><small>ふくしま さとし</small> 福島 智 東京大学先端科学技術研究センター教授</p> <p>1962年兵庫県出身。3歳で右目を、9歳で左目を失明。18歳の時、聴力も失い全盲ろう者となる。1983年に東京都立大学(現・首都大学東京)に合格。全盲ろう者として日本初の大学生となる。1996年12月から金沢大学教育学部助教授として勤務後、2001年4月から東京大学先端科学技術研究センターの助教授として勤務。2008年には東京大学から博士号を授与され、現在は教授として東京大学先端科学技術研究センターのバリアフリー分野の担当教員を務める。全国盲ろう者協会理事。</p>
<p>ボランティア部門 (国内)</p>	<p><small>ながせ としこ</small> 長瀬 淑子 公益財団法人ドナルド・マクドナルド・ハウス・チャリティーズ・ジャパン事務局長</p> <p>青山学院大学卒業。1989年東京大学付属病院中央医療情報部助手。1992年同医局長。在職中は日本医療情報学会評議員を務め、研究分野は地域情報システム、遠隔医療、病院連携システムなど。1999年第25回日本医学会総会展示幹事。放射線医学フォーラム幹事、医療フォーラム事務局長、武見太郎記念国際シンポジウム事務局長、愛知万博国連館内展示事務局長などを担当。1999年4月よりドナルド・マクドナルド・ハウス財団事務局長。滞在施設の建設・運営、ボランティア活動の支援などを行っている。独立行政法人国立成育医療研究センター倫理委員も務める。</p>
<p>ボランティア部門 (国際)</p>	<p><small>あきあき</small> 金井 昭雄 株式会社富士メガネ 代表取締役会長・社長兼任</p> <p>1942年、樺太(現・サハリン)に生まれる。1966年に早稲田大学を卒業後、6年間アメリカに留学し、オプトメトリストの資格を修得。この時、先住民の視力改善ボランティア活動を体験。帰国後、1973年に富士メガネに入社。1983年に初めてタイの難民キャンプに赴き、難民にメガネを贈るボランティア活動を行う。その後、国連難民高等弁務官事務所からの要請もあり、タイ、ネパール、アルメニア、アゼルバイジャンの4カ国で毎年社員とともに活動。その活動が認められ、2006年、日本人で初めて「ナンセン難民賞」を受賞した。</p>
<p>医療従事者部門 (国内)</p>	<p><small>たにがわ たけし</small> 谷川 武 愛媛大学大学院医学系研究科公衆衛生・健康医学分野 教授</p> <p>1986年神戸大学医学部卒業、同年東京大学大学院医学系研究科入学(社会医学専攻)。1990年東京大学大学院医学博士、東京大学医学部助手(公衆衛生学)。東京大学在職中から福島第1原子力発電所の非常勤産業医として、その後、福島第2原子力発電所の非常勤産業医として計約20年間勤務している。1995年筑波大学講師、1999年米国ハーバード大学客員講師、筑波大学助教授、准教授を経て、2008年より現職。産業保健、睡眠予防医学、循環器疾患の疫学、職場のストレス対策等を主な専門分野としている。</p>

<p>医療従事者部門 (国際)</p>	<p>須藤 昭子 ハイチ国立シグノサナトリウム医師・アドバイザー、 クリスト・ロア宣教修道女会</p> <p>1927年生まれ。1944年大阪女子高等医学専門学校(現・関西医科大学)に入学。1950年に第8回医師国家試験に合格。クリスト・ロア病院(現・上ヶ原病院)に結核の専門医として勤務。1953年にクリスト・ロア宣教修道女会に入会。20年以上にわたり日本で結核治療に携わる。1977年、50歳になる直前にハイチにある国立シグノ結核診療所に赴任。1982年に所長となる。2008年に病院からは引退するが、そのまま農業技術学校の設立に向けて取り組んでいる。2009年に日本に一時帰国するものの、2010年のハイチ地震を受けてハイチに再び戻り、現在も支援活動中。</p>
<p>青年部門</p>	<p>小沼 大地 特定非営利活動法人クロスフィールズ 代表理事</p> <p>神奈川県出身。一橋大学社会学部・同大学院社会学研究科終了。青年海外協力隊(中東シリア・環境教育)に参加後、マッキンゼー・アンド・カンパニーに入社。2011年3月、NPO法人クロスフィールズ設立のため独立。世界経済会議(ダボス会議)のGlobal Shapers Community(GSC)ジャパン2011に選出される。</p>

(別添資料2)

「ヘルシー・ソサエティ賞」とは

日本の国内外において、学術・教育、医療、公職、ボランティア・市民活動を通じ、より明るい今日とよりよい明日に向けて、健全な社会と地域社会、そして国民のクオリティ・オブ・ライフの向上に貢献した方々を称えることを目的に、平成 16 年(2004 年)に公益社団法人 日本看護協会とジョンソン・エンド・ジョンソングループ^{※1}によって創設されました。

- ・より健やかな社会を築くための、個人の素晴らしい努力を表彰する
- ・国内外における、社会全体または特定のグループへの支援に対する功績を称える
- ・慈善行為や寛大な精神、助けを必要とする人々への配慮を奨励する
- ・他者への思いやり、人々のために奉仕するという日本のよき伝統を奨励する
- ・高潔な人格を持ち、人々の尊敬の的となっている個人を対象とする

- 共 催 公益社団法人 日本看護協会
ジョンソン・エンド・ジョンソングループ日本法人各社
(^{※1})ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社(メディカル カンパニー、ビジョンケア カンパニー、
コンシューマー カンパニー)、ヤンセンファーマ株式会社、
オーソ・クリニカル・ダイアグノスティクス株式会社で構成
- 後 援 外務省、財務省、文部科学省、厚生労働省、経済産業省、社団法人 全日本病院協会、社団法人
日本医師会、一般社団法人 日本病院会
- 表彰対象 学術・教育・医療、政治、ボランティア・市民活動などを通じて、人々の健康、地域の保健、
クオリティ・オブ・ライフ向上に多大な貢献をした個人、あるいは組織のリーダー
- 審査方法 全国から寄せられた推薦にもとづき、審査委員会で審査の上、以下の 5 つの分野における受
賞者を決定する。
①教育者部門、②ボランティア部門、③医療従事者部門、④公職部門、⑤青年部門
- 審査委員(五十音順・敬称略)
有馬 朗人 学校法人根津育成会武蔵学園長、静岡文化芸術大学理事長
岩男 壽美子 慶応義塾大学名誉教授、東京都市大学名誉教授
佐藤 ギン子 元駐ケニア共和国大使、元証券取引等監視委員会委員長
高久 史麿 日本医学会会長、自治医科大学名誉学長
堂本 暁子 男女共同参画と災害・復興ネットワーク代表、前千葉県知事、元参議院議員
日野原 重明 聖路加国際病院理事長
福田 博 西村あさひ法律事務所顧問弁護士、元最高裁判事
森山 眞弓 元衆議院議員、一般財団法人日本カメラ財団理事長、白鷗大学学長
横倉 義武 社団法人日本医師会会長

- 諮問委員(五十音順・敬称略)
安達 知子 総合母子保健センター愛育病院産婦人科部長、東京女子医科大学客員教授
石井 正三 社団法人日本医師会常任理事
伊藤 雅治 社団法人全国社会保険協会連合会理事長
猪口 邦子 参議院議員、元少子化大臣、日本学術会議会員
宇井 理生 東京大学名誉教授、北海道大学名誉教授、東京都医学総合研究所特別
客員研究員
角道 謙一 全国農業会議所会員、宗教法人明治神宮責任役員、独立行政法人日本芸術
文化振興会理事

川崎 二郎	衆議院議員、元厚生労働大臣、元運輸大臣
日下 一正	三菱電機株式会社顧問、東京大学客員教授
玄葉 光一郎	衆議院議員、前外務大臣
斉藤 邦彦	北鎌倉女子学園理事長、ジェスク音楽文化振興会理事長、株式会社パレスホテル顧問
坂口 力	医師、前衆議院議員、元厚生労働大臣
清水 嘉与子	日本看護連盟会長、公益社団法人日本訪問看護振興財団理事長
下村 満子	ジャーナリスト、元「朝日ジャーナル」編集長、株式会社ルネサンス取締役
水田 祥代	九州大学名誉教授、福岡歯科大学常務理事
袖井 孝子	お茶の水女子大学名誉教授、一般社団法人シニア社会学会会長
津島 雄二	弁護士、元衆議院議員、元厚生大臣
丹羽 雄哉	衆議院議員、元自由民主党総務会長、元厚生大臣
南野 知恵子	元参議院議員、元法務大臣・内閣府特命担当大臣(青少年育成及び少子化対策)
畠山 襄	一般財団法人国際経済交流財団会長、元ジェトロ理事長、元通商産業審議官
平林 博	公益財団法人日印協会理事長、公益財団法人日本国際フォーラム副理事長、株式会社三井物産取締役
松谷 有希雄	国立保健医療科学院院長
南 裕子	高知県公立大学法人理事長
森 英恵	ファッションデザイナー
森 樹郎	虎の門病院眼科部長
森岡 茂夫	国際長寿センター連合体名誉議長
矢崎 義雄	国際医療福祉大学総長、独立行政法人国立病院機構名誉理事長、国立国際医療センター名誉総長
山崎 摩耶	前衆議院議員
渡部 恒三	元衆議院副議長

●各部門概要

教育者部門	社会のあらゆる場において、教育を深め、本来の仕事の範囲を超えて特別な努力をされ、人々に更なる知識を与え、教育により、よりよい明日の実現のために貢献した実績のある方に贈られます。
ボランティア部門	チャリティーや国民の福祉を向上させる活動、もしくは地域福祉の向上や市民としての活動などにおいて指導的役割を果たし、多大な貢献をされている方に贈られます。
医療従事者部門	医療全般のあらゆる分野で活躍する方々の中から、患者や高齢者、または障害者など、社会的に不利な立場にあり、援助を必要としている方々のケアのために特別な努力をされた方に贈られます。
公職部門	公務員として求められている仕事の範囲を超えて、国民のため、または地域住民のために、職責をこなす以上の積極的な努力をされた方に贈られます。
青年部門	30歳以下の青年で、あらゆる生命を守る環境保護のように社会をよりよい場所にしようと努力している方、または助けの必要な人々に手を差し伸べている方など、年齢は若くとも目覚ましい努力と真に健全な社会を築くために有意義な活動を行い、他社を思いやるクリエイティブな人間になろうという決意をもつ方に贈られます。

●表彰 受賞者には賞状と記念杯を贈呈